

TOTO水環境基金

助成団体紹介

TOTO
GREEN
CHALLENGE



第7回(2012年4月~2013年3月)助成団体紹介
第6回(2010年10月~2011年9月)助成団体活動報告

TOTO株式会社 総務部 (2012.06)

※この冊子は植物油インキ(Vegetable Oil Ink)を使用しています。



「TOTO水環境基金」設立の背景

私たちTOTOグループは、水まわりを中心とした、豊かで快適な生活文化を創造することで、社会の発展に貢献する企業を目指しています。未来に向けて、大切な水資源を有効に活用して社会が持続的に発展していくためには、節水技術の追求というTOTOの果たすべき役割とともに、NPOをはじめとする市民活動の果たす役割も欠かせません。そこでTOTOは、よりよい社会を築き支え、社会と共生することを目的に、2005年度より「創りだそう！水と暮らしの新しい文化」をテーマとして市民の取り組みを支援することにしました。

現在では、助成金による経済的支援だけでなく、TOTOグループ社員の活動参加や情報交換などを通じて、年々活動の輪が広がっています。

第7回 助成団体MAP

Contents

第7回助成団体紹介	3p～19p
第6回助成団体活動報告	20p～25p
助成団体一覧	26p～27p
募集概要	28p
TOTO GREEN CHALLENGE について	29p

第7回 助成団体紹介



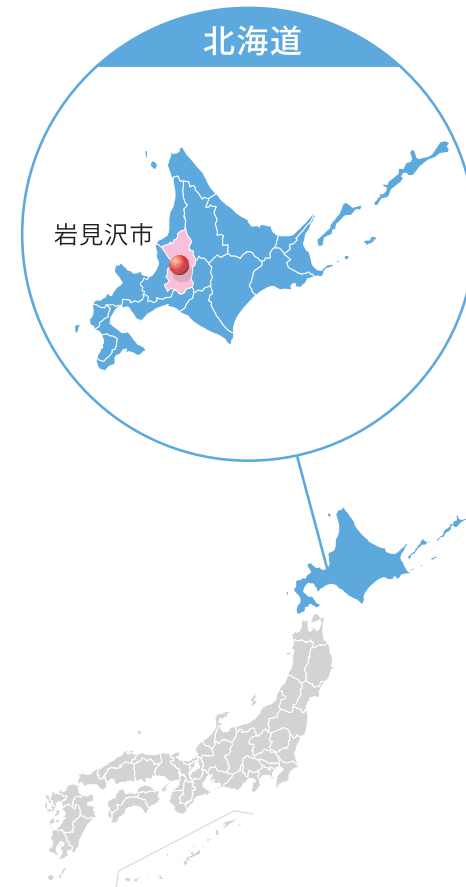
マップ ナンバー	プロジェクト名	団体名	主な活動地域	ページ
1	川の一年を活用した河川環境保護事業	NPO法人 山のない北村の輝き	北海道岩見沢市北村石狩川水系旧美唄川流域	4p
2	山のおいしさ学校 高根自然学校プロジェクト	高根フロンティアクラブ	新潟県村上市高根	5p
3	おいしい水を育てよう！ 利根川水源地域の里山再生活動	さなざわ里山だんだんの会	群馬県利根郡みなかみ町月夜野	6p
4	児沢の森・田んぼの学校開校プロジェクト	NPO法人 比企自然学校	埼玉県比企郡、東松山市及び東秩父村	7p
5	白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり	白子川源流・水辺の会	東京都練馬区立大泉井頭公園内(白子川源流)	8p
6	夏休み多摩川教室	NPO法人 おさかなポストの会	神奈川県川崎市多摩区 稲田堤稲田公園前多摩川河川敷	9p
7	岩嶽のおいしい水を地域の自慢にするプロジェクト	NPO法人 はるの山の楽校	静岡県浜松市天竜区春野町	10p
8	家棟川で生態回廊を再生！～ビワマスが遡上する川に～	NPO法人 家棟川流域観光船	滋賀県野洲市の山・川・田畑・琵琶湖	11p
9	山は海の恋人、つながろう海・山・川、保全活動	一般社団法人 海っ子の森	三重県東紀州地域(尾鷲市・紀北町 他)	12p
10	保津川の歴史的な自然景観保全プロジェクト ～河川漂着ごみ減量化作戦～	NPO法人 プロジェクト保津川	京都府亀岡市～京都市右京区 嵐山を中心とした保津川流域全帯	13p
11	国際作業キャンプによる飛鳥川の景観修復プロジェクト	景観ボランティア明日香	奈良県明日香村の中心部、橘寺のある 橘地区を流れる飛鳥川とその周辺	14p
12	めざせ！紫川を日本一の清流にするプロジェクト2012 ～“山”TO～“水”TO“私たち中谷”水源再生事業～	中谷地区まちづくり協議会	福岡県北九州市小倉南区中谷地区	15p
13	ホタル舞う旧長崎街道を目指して ～ホタルの飛び交う黒川の再生～	香月・黒川 ほたるを守る会	福岡県北九州市八幡西区香月・黒川地区 (石坂1丁目石坂橋付近から香月4丁目梅崎橋付近)	16p
14	ほりの再生をめざすふるさとづくり	アクアリング委員会	福岡県大川市下白垣地区	17p
15	冷川のホタルと親しむ会	冷川のホタルと親しむ会	大分県別府市	18p
16	“地球上の水を守る人づくり”プロジェクト	次世代のためにがんばろ会	熊本県八代市八代海・不知火海沿岸 および地域の河川流域	19p

1 川の一年を利活用した 河川環境保護事業

団体名 NPO法人 山のない北村の輝き
主な活動地域 北海道岩見沢市北村 石狩川水系旧美唄川流域
代表者 石黒 武美

目的

岩見沢市北村は、石狩川流域に位置し、昔から春の雪解け水、夏から秋の台風により毎年水害にあってきた。近年では治水事業が進み被害も減っているが、いつまた自然災害が発生するか分からない。当プロジェクトは官民協働で取り組み、良好な石狩川景観の形成と環境保全を推進し「まちづくり・ひとづくり」に寄与することを目的として活動する。またこの活動から、親子のふれあいや地域の交流の場をつくり、市民の川の環境保全・緑化に対する関心度も高めていく。

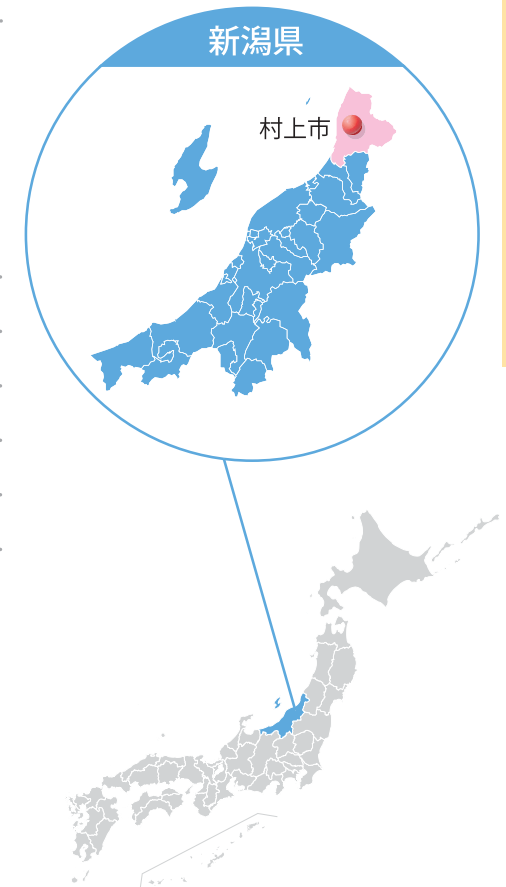


2 山のおいしさ学校 高根自然学校プロジェクト

団体名 高根フロンティアクラブ
主な活動地域 新潟県村上市高根
HPアドレス <http://www.takane-net.jp/>
代表者 遠山 政好
E-mail akepon@vesta.ocn.ne.jp

目的

新潟県の最北部にある高根は、四方を山に囲まれ豊かな自然の恩恵を受けている。現在の集落戸数は176戸、750人余りの人々が生活しているが、少子高齢化の進行、都市への人口流出、地域産業（林業・農業）の停滞など、徐々に過疎化が進んでいる。源流域の集落の責任として、清流のすばらしさを次世代に引き継げるように子どもたちとともに学ぶことを目的とし、川での自然観察会、棚田を守る活動などを若い世代と行い、交流を通じて集落活性化につなげる。



緑の回廊づくり植林

雪中植林作業風景

河川調査でミニリバーで遊ぶ園児たち

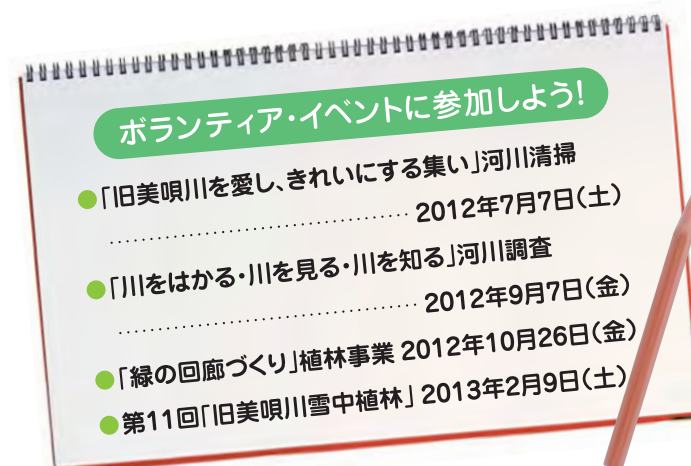
活動の説明を受ける選考委員

どんぐりの植樹地

天蓋高原夏祭りでの耕運機体験

実施内容

石狩川水系旧美唄川にある「水辺の楽校」をはじめとする河川環境を活用し、水質・生物調査、川の流れ、カヌー体験などの自然体験や川での安全講座に取り組む。また、炭を使った河川の水浄化作業、冬には、真冬でも植樹が可能なバイオブロック工法（カミネッコン）の製作を、親子と一緒に体験し、川の環境保全・緑化に対する地元住民の関心を高める。これらの活動を通して河川環境の保全と地域の活性化を推進し官民協働による流域づくりへと繋げる。



実施内容

1996年の結成以来、集落内にある広葉樹の林に遊歩道を整備し、天蓋高原交流広場に隣接するひまわり畑・ブナの広葉樹の森を抜けた先にビオトープも整備し、自然観察のできる森づくりに取り組んでいる。間伐した薪を利用し、石窯で焼いたピザやバームクーヘンづくりなどの体験も行っている。また、高根川での生物教室や川遊びを通じて、川への親しみ、楽しみのある高根自然学校の運営、自然学校らしい景観整備を進め、集落活性化を図っていく。



3 おいしい水を育てよう! 利根川 水源地域の里山再生活動

団体名 さなざわ里山だんだんの会

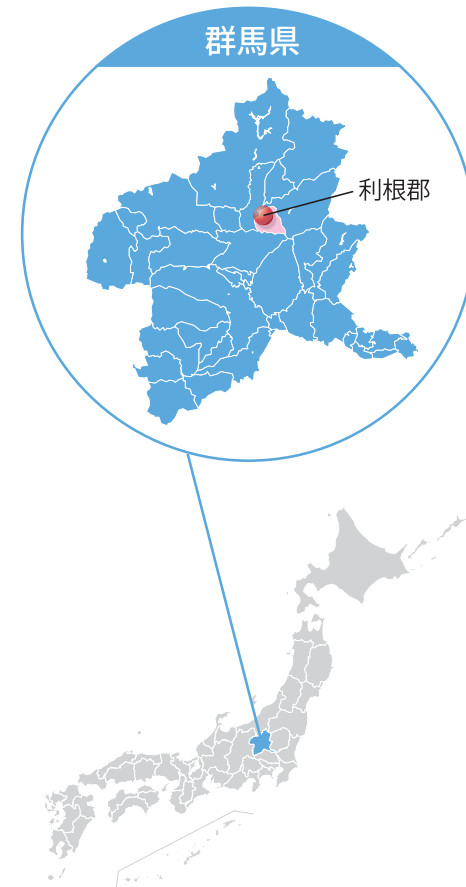
主な活動地域 群馬県利根郡みなかみ町月夜野

HPアドレス <http://sanazawa.com/blog/>

代表者 石田 勘一

目的

利根川の水源地域のひとつ、みなかみ町月夜野真沢には、きれいな沢が流れる美しい棚田空間が広がる。地域内の山林では間伐や下草刈りをしながら、山林の環境保全に取り組んでおり、これらの水田や山林は、涵養地となるとともに生物の貴重なすみかとなっている。しかし近年、生活の変化や高齢化等により放棄地も見られ、里山環境の保全・維持や、人材育成が課題である。当会では、みなかみ町真沢地区の地域・環境づくり活動で、地域活性化、下流都県との交流を図る。



4 児沢の森・田んぼの学校 開校プロジェクト

団体名 NPO法人 比企自然学校

主な活動地域 埼玉県比企郡、東松山市及び東秩父村

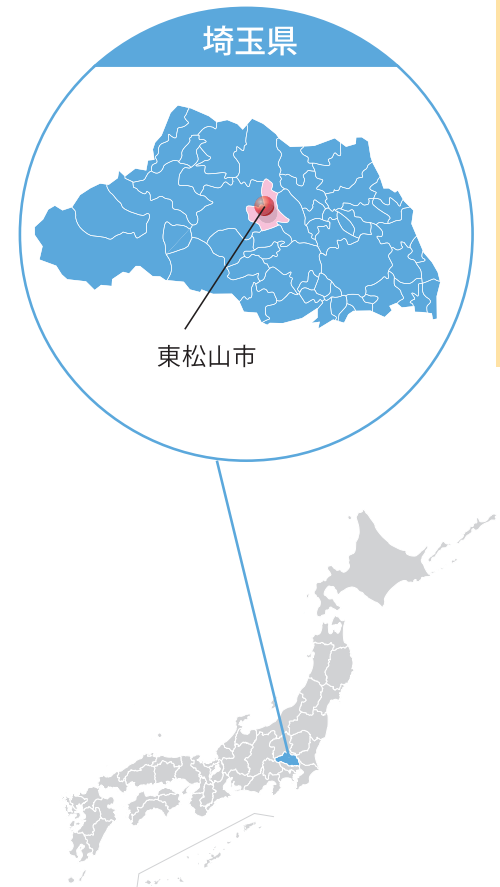
HPアドレス <http://hns.hiki.tv/>

代表者 千葉 茂樹

E-mail hns.hiki.tv@gmail.com

目的

かつての児沢周辺では谷津田でのお米づくりが営まれ、美しい田園風景を形成し多様な生きものを育んできた。しかし、谷津田でのお米づくりの中止により、耕作放棄地となり、人だけでなく野生生物にとっても環境が悪化しつつある。谷津田を生物多様性の高い「冬水田んぼ」として再生し、都市農村交流型の田植え・稲刈り体験活動を地元の方と一緒に行うことで、美しい里山環境の維持再生と子どもたちの健全育成に貢献し集落の活性化に繋げていく。



活動後のひと時

里山風景

説明を受ける選考委員

耕作放棄地を見学

活動エリアを視察

立派なダイコンが育っている

実施内容

「里山再生作業」及び「環境学習の開催」を柱とし、里山環境を再生保全するため荒地となった休耕田の復田やビオトープづくり、環境学習活動に必要な丸太橋や散策路等の整備、美しい里山景観を保全するための間伐や景観を阻害する高木の伐採、それらの材木を活用したベンチづくり、地元住民が講師となった農作業や里山料理の体験、生物観察する環境学習会を開催する。里山環境を学びながら、「地産地消」の活動も行っている。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 古代米まつり..... 2012年6月
- ビオトープ生物確認..... 2012年8月
- 収穫祭準備(草刈、はってづくり等)..... 2012年9月
- 収穫祭..... 2012年10月
- ビオトープ管理、里山再生作業..... 2012年11月

実施内容

児沢でのこれまでの10余年の活動経験を活かし、ステップアップするための新規プロジェクトとして「児沢の森・田んぼの学校」を開校し、耕運機の購入、田んぼ及び田んぼ解説ボード、井戸等の整備、実施体制整備(スタッフトレーニング)、田植え・稲刈りプログラムの開発と試行実施を行い、「児沢の森・田んぼの学校」を自立・継続的にするための基盤を整備していく。来年度以降は、田んぼ観察会、ドジョウ捕り大会など、地域資源を活かした宿泊型のプログラムについても導入を検討する。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 田植えツアー(日帰り、8回開催)..... 2012年5~6月
- 稲刈りツアー(日帰り、8回開催)..... 2012年10月

5 白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり

団体名 白子川源流・水辺の会

主な活動地域 東京都練馬区立大泉井頭公園内(白子川源流)

HPアドレス http://www.geocities.jp/sirako_river/

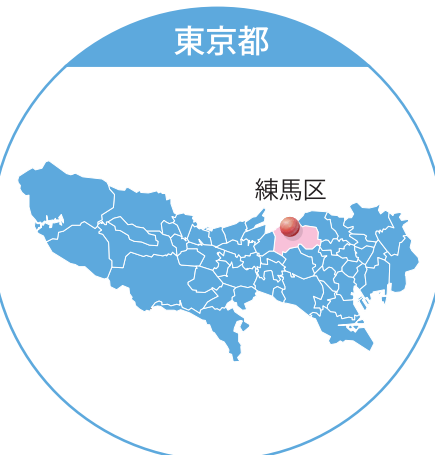
代表者 菅沢 博

E-mail suga-lohas@jcom.home.ne.jp

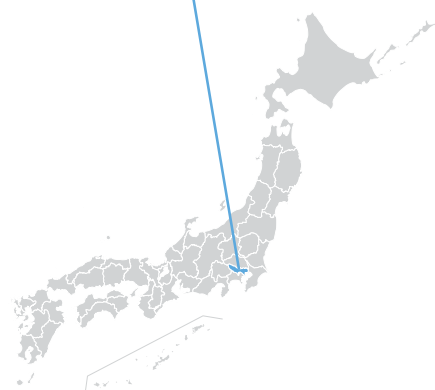
目的

白子川は都内に湧水の水源をもつ唯一の一級河川であり、清流のみに棲息するホトケドジョウやカワセミ・コサギなども飛来する。同団体は2001年よりこの貴重な湧水と豊かな水辺環境の白子川源流の保全を目的に活動している。12年目を迎えるにあたり、地元(東大泉、南大泉)の学校・子ども・区民・商店に川の動植物も含め、「みんなの白子川だよね!」と挨拶が交わせるような、潤いと親しみのある“湧き水の町”を人々が実感できるようにしていきたい。

東京都



練馬区



6 夏休み多摩川教室

団体名 NPO法人 おさかなポストの会

主な活動地域 神奈川県川崎市多摩区稲田堤稲田公園前 多摩川河川敷

HPアドレス <http://homepage2.nifty.com/gasagasaqua/>

代表者 山崎 雅彦

E-mail mlc54407@nifty.com

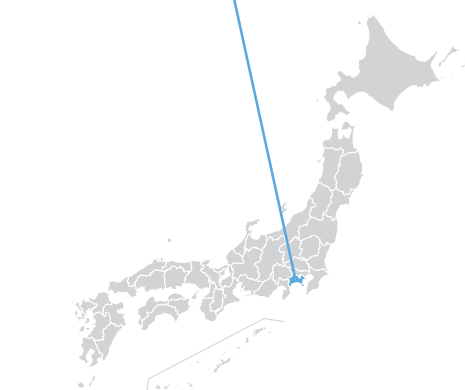
目的

アユが200万匹も遡上し、きれいな川のイメージが強い多摩川だが、実際はゴミが大量に放置されており、流域に住む人々には現状のほとんどが知られていない。当プロジェクトは、地域の人々に現状を把握してもらい、多摩川と親しむことを目的としている。プロジェクトでは、美化活動、川流れ、ボート川下り、生き物調査、多摩川天然アユを食べ、多摩川を丸ごと体験する。地域と連携し、川と親しむことで、川が抱える問題に目を向け、多摩川環境改善につなげる。

神奈川県



川崎市



ヒアリング風景

白子川源流まつりの様子

定例川清掃の様子

ヒアリング風景

おさかなポスト

生き物調べの様子

実施内容

多くの水生生物の命を育んでいる白子川の清掃活動・水質調査・生き物調査を行っている。定例の川活動では、外来水草オオフサモヤ、川底のドロをどのように除去するかが大きな課題となっている。10月の白子川源流まつりでは、小学校の子どもたちによる「白子川学習」の発表や、東日本大震災の被災地を支援するために会のオリジナル品の販売などを行う。また、新たにスタートさせた「白子川渓流にアユを呼ぼう」プロジェクトも長期にわたる取り組みとなりそうだ。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 定例の川活動(川清掃・水質調査・生き物調査) 毎月第4日曜日
- 第12回白子川源流まつり 2012年10月



実施内容

机上だけの学習に留まらず実際に自然で遊ぶことにより、子どもたちにも現状を把握してもらう。まずは簡単に目で見て確認できるゴミ拾いから始まり、クイズ形式の環境紙芝居、多摩川での遊び方や温暖化、外来種問題、問題の解決方法等を指導。川流れや生物調査、ボート下り、ジャンプ台からの飛び込みなど、ただ遊ぶだけでなく学習効果が持てるようにプログラムする。スイカ割りや多摩川産のアユを食べ、味覚の面でも楽しんでもらうことにより、多摩川の大切さを感じてもらう。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 夏休み多摩川教室
(場所) 多摩区稲田堤稲田公園前、多摩川河川敷 2012年8月



7 岩嶽のおいしい水を 地域の自慢にするプロジェクト

団体名 NPO法人 はるの山の楽校

主な活動地域 静岡県浜松市天竜区春野町

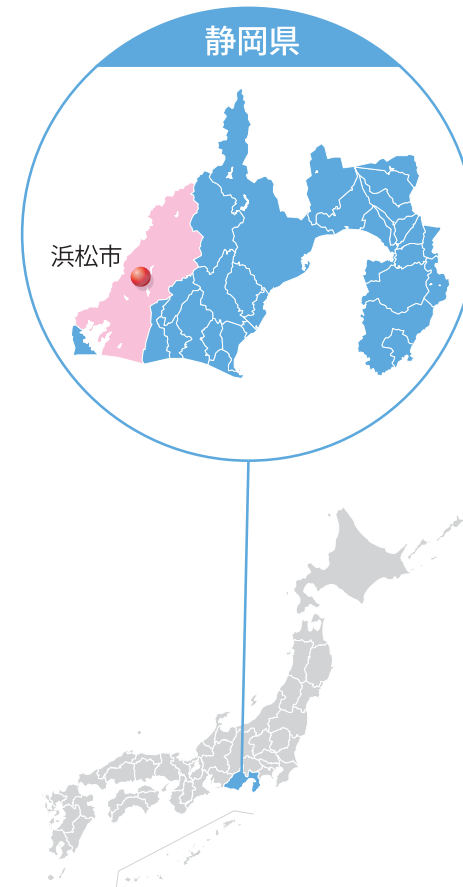
HPアドレス <http://route362.net/yamanogakko/index.html>

代表者 山下 太一郎

E-mail anet362@yahoo.co.jp

目的

「山の水」は山村にとって命の水である。その「山の水」をいただける自然の仕組みと、水の大切さと森林の機能を再確認し、おいしい水を皆で味わうことを目的とする。水が生まれる場所（水源地）を訪ねたり、おいしい水を使って入れたお茶を味わったり、水を育てている山の手入れをする。その水源地の水の水質検査を行い、その特性を知った上で、「岩嶽山の水」を使った地域の名物売り出ししていくことを検討する。



8 家棟川で生態回廊を再生! ～ビワマスが遡上する川に～

団体名 NPO法人 家棟川流域観光船

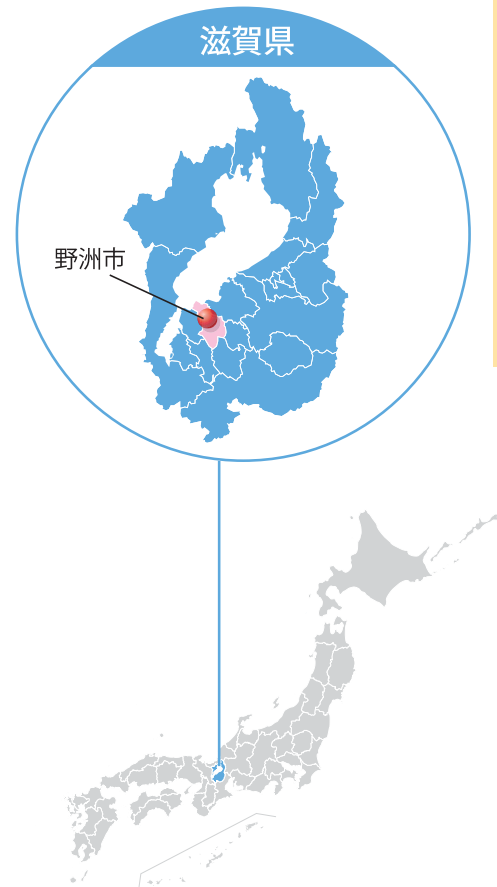
主な活動地域 滋賀県野洲市の山・川・田畑・琵琶湖

代表者 北出 肇

E-mail hajimu-k@paw.hi-ho.ne.jp

目的

野洲市の8割の川が合流する家棟川で、ビワマスが遡上し、在来魚介類を育む生態回廊の再生を目指して活動する。専門家の協力を得て水質や生態系の調査を実施し、私たちの暮らしと家棟川の水や生物のつながりを理解し、水源の山・森から市街地、平野を流れる川、田畑、琵琶湖へとつながる環境の保全に取り組む。また市民に家棟川の自然に関心を持ってもらえるよう、自然の素晴らしさを体験するイベントを行い、活動を広げる。



間伐体験



ヒアリング風景



紅茶園手入れ



ヒアリング風景



田植え体験



清掃活動の様子

実施内容

水を利用した地域おこしとして、まずは地元の人たち自身で管理している簡易水道の水源地の水質調査を行い、科学的に分析した上で、その水を利用した地域の名産物を打ち出すことを、アドバイザーを招いて検討する。おいしい水のある地であること、県下有数のお茶の産地であることを世間に知ってもらい、地元の水で入れたお茶を堪能して、地元の人達がより水と地域を大切に思う気持ちが強くなることを期待している。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 水質調査・岩嶽の水ワークショップ..... 2012年4月
- 水源探訪ツアー..... 2012年5月初旬
- お茶つみ体験ツアー..... 2012年6月
- 紅茶作り体験ツアー..... 2012年4月
- 間伐体験ツアー..... 2012年9月

実施内容

琵琶湖には毎日、川から大量のゴミが流入し、生態系は大きく変わっている。家棟川流域の山から湖にかけてのつながりを再生するため、つながりに配慮した取組みを各地で進め、自然の素晴らしさを体験し、水循環と生態回廊を取り戻す活動を行う。琵琶湖・水を大切にする生活をする事で、山・森・川・田畑・琵琶湖のつながりを一体のものとして環境保全活動を行う。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 川や琵琶湖のゴミ拾い..... 2012年4月～10月
- 魚のゆりかご水田..... 2012年5月～11月
- あやめ浜まつり..... 2012年8月
- ヨシ植え..... 2012年12月

9 山は海の恋人、つながろう 海・山・川、保全活動

団体名 一般社団法人 海っ子の森

主な活動地域 三重県東紀州地域(尾鷲市、紀北町 他)

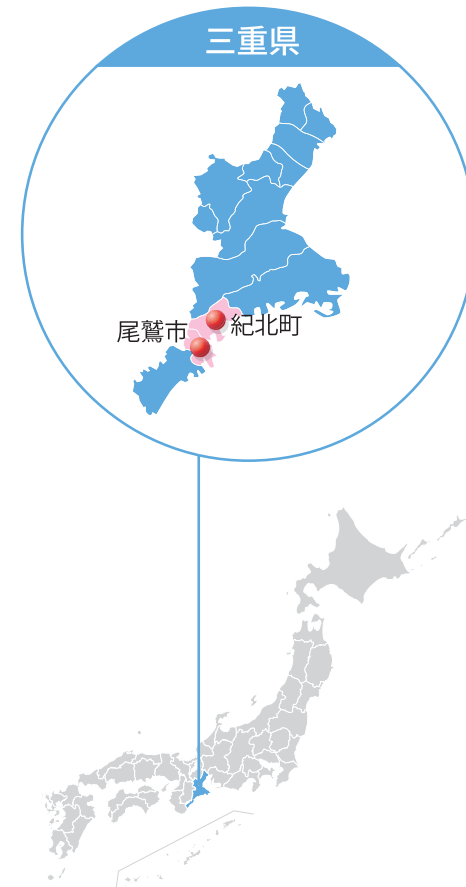
HPアドレス <http://www.umikko.jp/>

代表者 山下 達己

E-mail info@umikko.jp

目的

三重県南紀州地域では、各団体及び地元行政との協働による活動で、熊野古道エリアの山・川・海の自然を守り、水環境保全を推進し、活動を通じ過疎地域への経済的支援を行う。また、熊野古道エリアの環境保護団体活動の質的向上と活性化のために、県内の海・山・川の保全活動を実施しているNPO及び団体と相互活動し情報交換する。行事や活動の中に環境講演等を組み、地元住民が自ら環境保全活動や環境配慮行動がとれるようにすることを目指す。



10 保津川の歴史的的自然景観 保全プロジェクト ～河川漂着ごみ減量化作戦～

団体名 NPO法人 プロジェクト保津川

主な活動地域 京都府亀岡市～京都市右京区嵐山を中心とした保津川流域全帯

HPアドレス <http://hozugawa.org/> E-mail info@hozugawa.org

代表者 坂本 信雄

目的

四季折々の美しい景観美をみせる保津川。今この保津川は、ごみの不法投棄による環境悪化問題が大きな課題であり、このごみが下流域より大阪湾へ流れ込み海岸漂着ごみとして新たな問題となっている。そこで、流域住民、各種団体、企業、行政が連携して保津川の歴史的的自然景観を保全することで地域の活性化を図る。さらには海岸漂着ごみの発生抑制対策を全国へ発信し、全国的な事業展開の素地形成に貢献する。



ヒアリング風景

自然石に取り付けた海藻を海中に沈める

海岸清掃の様子

保津川上流域の見学風景

保津川の川下り風景

ごみの不法投棄

実施内容

海・山・川の再生取組ワークショップを開催。水環境保全活動ネットワークを拡大し質的向上を図る。また、紀伊半島熊野エリアを中心に県内で活動中のNPO、団体、行政、企業グループとの相互交流で水環境保全活動の活性化に努める。海の植林(藻場再生事業)実施については、磯焼け地域へのアラメ・カジメ等の稚苗の植林による藻場の環境復元、稚苗の効果的な食害防止策及び施工方法の調査・研究、また、海岸清掃・磯清掃・伊勢海老の稚エビ放流体験などに取り組む。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 海・山・川の自然と水環境保全活動相互交流の実施
..... 2012年10月20日(土)・21日(日)
- 海岸清掃・磯清掃・伊勢海老放流体験
..... 2012年11月
- 海の植樹事前事後調査..... 2012年8月
2013年1月

実施内容

保津川下りおよびラフティングボートを用いて、一般的な清掃活動が困難な保津峡での漂着ごみの回収・実態調査を行う。また市内の小・中学生の協力を得て、生分解性ペットボトルを放流しデータ収集を実施。次代を担う子どもたちの意識啓発に努め、今後の地域間連携(流域管理)の素地づくりを推進する。さらには、市民の貴重な地域資源として再認識し、天然記念物アユモドキをはじめとする希少生物環境の保全やホタルが飛び交う身近な里川復活を目指した活動を行う。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 保津川クリーンアップ作戦
(清掃活動&ごみ調査) 2012年9月

11 国際作業キャンプによる 飛鳥川の景観修復プロジェクト

団体名 景観ボランティア明日香

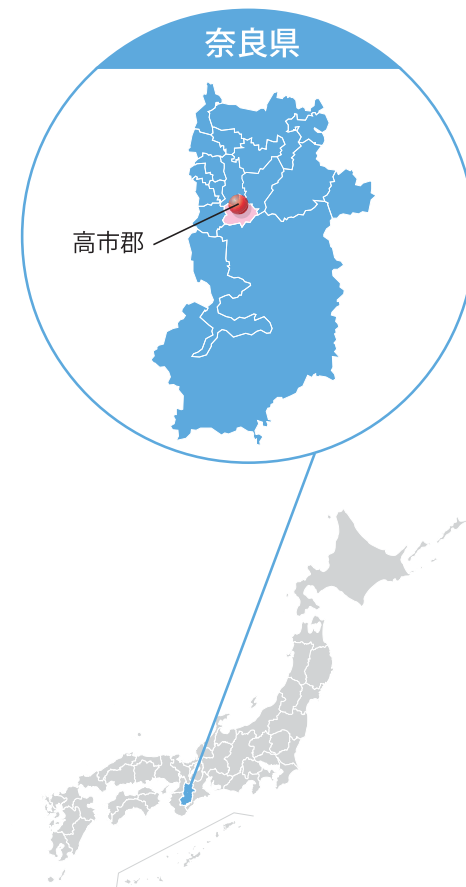
主な活動地域 奈良県明日香村の中心部
橘寺のある橘地区を流れる飛鳥川とその周辺

HPアドレス <http://ascva.com>

代表者 三木 健二 E-mail asuka@yume9200.jp

目的

日本誕生の地・奈良県明日香村の歴史的景観を修復・保全することを目的に、2002年に明日香を愛する人たちで「景観ボランティア明日香」を結成。ボランティアと、村（明日香村地域振興公社）と、地元集落の3者が役割を分担し、一緒に作業する「協働作業方式」を確立し作業にあたっている。歴史的文化的遺産のある風光明媚な場所で汗をかき、古代ロマンに思いをはせながら、泊まり込みで地元の人たちと一緒に作業して交流を深め、「あすか大好き人間」を増やすことを目的とする。



12 めざせ!紫川を日本一の清流にする プロジェクト2012

～“山”TO“水”TO“私たち中谷”水源再生事業～

団体名 中谷地区まちづくり協議会

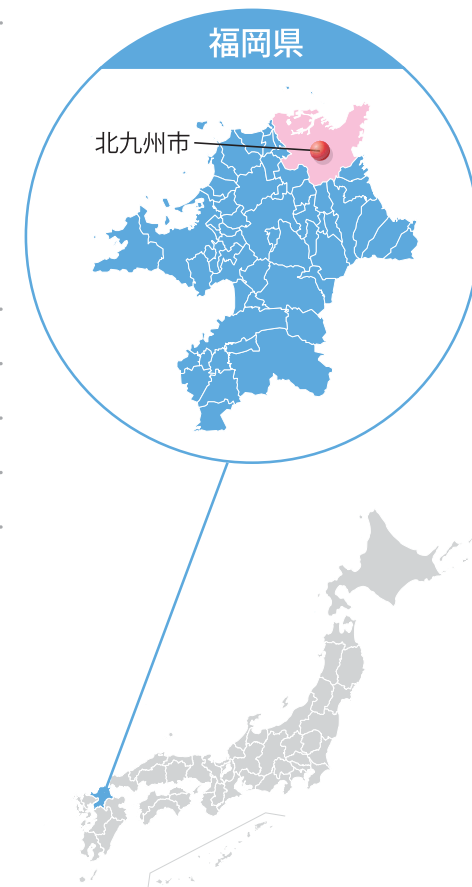
主な活動地域 福岡県北九州市小倉南区中谷地区

代表者 三井 勇策

E-mail rt-cc@ktqc02.net

目的

北九州市の水瓶である「鱒淵ダム」、シンボリックな河川「紫川」の水環境の保全（浄化・再生）を通じて、美しかった紫川、中谷の原風景を再生する。北九州市が進める環境都市のシンボリックな活動として、多くのステークホルダーに参加（協働）いただき、環境保全の大切さを実感していただくことにより、環境に対する意識の醸成を図り、地域の活性化を目指す。



ヒアリング風景



荒廃した竹林



作業ボランティア
ワーキングホリデーの様子



ヒアリング風景



なかたに環境学校の様子



竹炭づくりの様子

実施内容

歴史的風土と景観を守るため、2泊3日間泊まり込みで作業する国際作業キャンプや、日帰り活動、里山再生活動などを実施する。この10年間に飛鳥川沿いの6集落で計21か所の景観を修復し、また、この活動を通じ、われわれボランティア団体・（財）明日香村地域振興公社・地元集落の3者による「協働作業方式」が定着し、作業した箇所は地元集落が自発的にメンテナンスする仕組みもできている。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 日帰り活動..... 2012年7月
- 2012年度国際作業キャンプ(宿舎「祝戸荘」)
..... 2012年11月23日～25日
- 日帰り活動..... 2013年2月

実施内容

紫川・鱒淵ダムの浄化・再生と地域の活性化に対して、環境悪化の要因となっている“竹”を活用した環境保全サイクルを考察し、竹炭窯の設置などにより仕組みを構築している。現在では、行政、地域の方などの環境教育、協働の実践活動の場として、地元の小学校とも一緒に活動を行う一方、市内の小学生の親子を対象に中谷の自然を教材にした「なかたに環境学校」を開催するなど、世代を超えて環境の大切さを学ぶ場としての役割も果たしている。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 「なかたに環境学校」の開催 2012年8月
- つけものコンクール..... 2013年1月
- なかたにウォーク..... 2013年3月

13 ホタル舞う旧長崎街道を目指して ～ホタルの飛び交う黒川の再生～

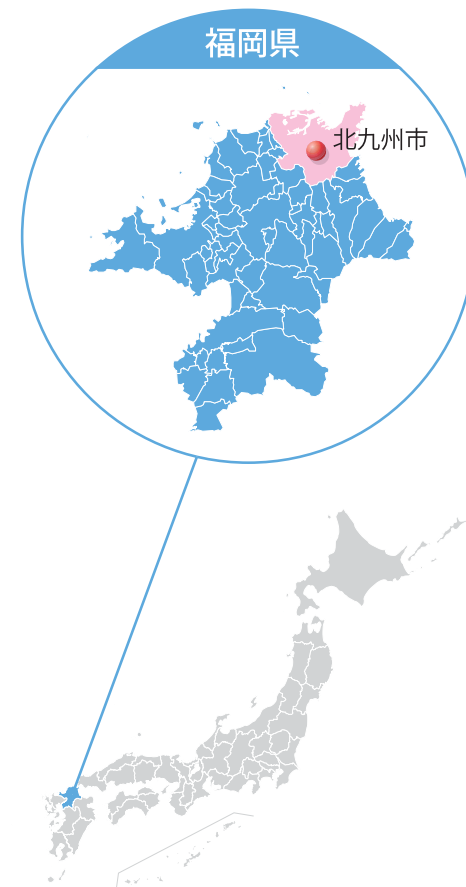
団体名 香月・黒川 ほたるを守る会

主な活動地域 福岡県北九州市八幡西区 香月・黒川地区
(石坂1丁目石坂橋付近から香月西4丁目梅崎橋付近)

代表者 岩本 正

目的

ふる里黒川の自然環境の再生を目指し、ホタルの保護・育成活動に取り組んで20年が経過した。私たちの生活の中で中心となっている黒川で、ホタルの保護・育成を通して、清く澄んだ黒川をいつまでも守るために、世代を超えた地域活動を行う。ホタルが増えることにより、黒川の自然を肌で感じてもらい、地域の自然環境保護の重要性を知ってもらう。また、この地域活動によって旧長崎街道の姿を子どもたちと一緒に体験し、黒川を愛する心を育てる。



14 ほりの再生をめざす ふるさとづくり

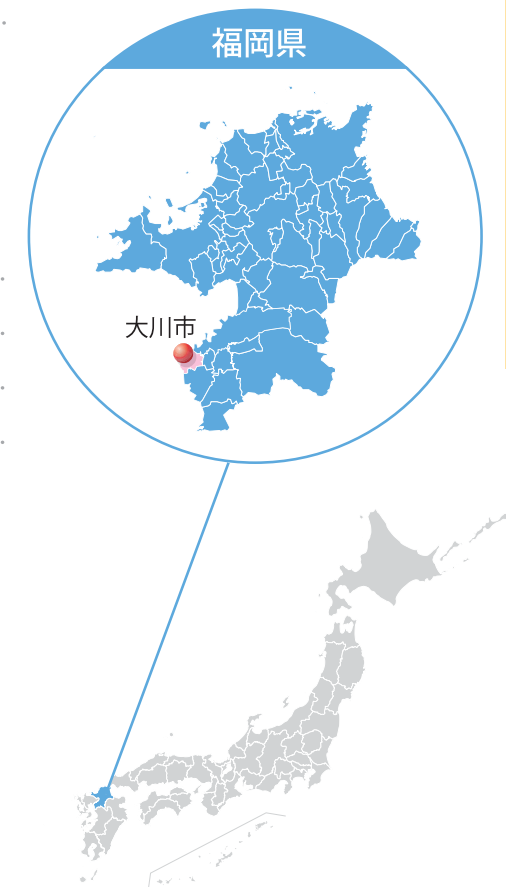
団体名 アクアリング委員会

主な活動地域 福岡県大川市下白垣地区

代表者 本村 凡憲

目的

当委員会が下白垣地区で8年間にわたって継続してきたほり干し活動を中心とする活動をさらに継続したいと考えている。地域の歴史や文化にほりは欠かせない存在であるという原点に立ち返り、この地域に特有な地域の環境財であるほりの機能を回復させることによって、この地域を農業生態系保全として、有機農業展開、そして農村景観保全の場としての位置づけを確たるものにし、他地区の模範となるようにしていく。



ホタルの餌となるカワニナの見学

香月地区を流れる黒川

ヒアリング風景

"宝島"近くを見学する選考委員

過去"ほり干し"をしたクリーク

ほり干し活動の様子

実施内容

2012年は、「香月・黒川 ほたるを守る会」が設立して20年の記念すべき年であり、長年の取り組みにより行政の支援も得ながら地域の住民や団体が力を合わせ、昔懐かしい黒川に近づいてきたように思う。現在は、上流から2キロしか見ることができないが下流域まで水質の向上・環境保全を広げ、更なるホタルが飛び交うふる里づくりを進める。また、川の清掃活動のみならず、地域の清掃やイベントの開催などを通して地域コミュニティの再生・復活を目指す。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 第20回「香月・黒川 ほたる祭り」..... 2012年6月
- 草刈り作業..... 2012年7月・10月
- 流域自治会による清掃活動..... 2012年10月
- 草刈り作業..... 2013年1月・3月
- 第14回「香月・黒川 ほたる教室」開催..... 2013年2月
- 流域自治会による清掃活動..... 2013年3月

実施内容

農村景観の保全と、ほりの水環境にとって不可欠な在来の水生植物の保護活動、ほりの重要性を次世代に伝えていくため小・中学校で出前講義を行う。ほりが多くの希少な生きもののすみかとなっていることの重要性の観点から学び取る学習会を開催。また、ほりを干し底土であるガタを田んぼに還元するという伝統的な農作業風景を復活する。他にも、定期的な雑草・廃棄物の収集を徹底し、ヒシ、フナ、ウナギなどを守るため、徹底した外来種の駆除活動を行う。

ボランティア・イベントに参加しよう!

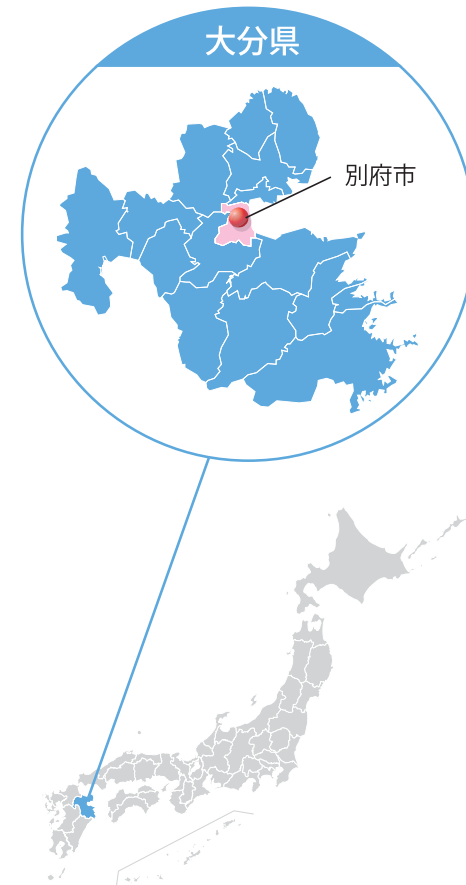
- 下白垣地区草刈り..... 2012年7月中旬
- 宝島周辺外来種駆除活動..... 2012年10月下旬
- 下白垣地区掘り掃除・ゴミ拾い..... 2012年11月初旬
- 宝島周辺マコモ・葦切り活動..... 2012年11月初旬
- ホッケンギョ(地区の伝統行事)..... 2013年1月初旬
- 生物多様性に関する学習会..... 2013年2月初旬
- 下白垣地区ほり干し..... 2013年2月初旬
- 宝島植樹作業..... 2013年3月初旬

15 冷川のホタルと親しむ会

団体名 冷川のホタルと親しむ会
 主な活動地域 大分県別府市
 代表者 高橋 東洋雄
 E-mail takahac@ctb.ne.jp

目的

温泉湧水量全国一の温泉地・別府にあって唯一温排水の流入がなく、水質汚濁度が低くて水のきれいな“冷川”の自然環境を保全し、生息する魚類・小生物の生育環境を守り、中でも希少となっているゲンジボタルの育成に努める。このような取り組みによって、「自然を尊び、自然を愛し、自然に親しもう」「自然に学び、自然の調和を損なわないようにしよう」「美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう」という自然保護憲章の精神を具体化することを目的とする。

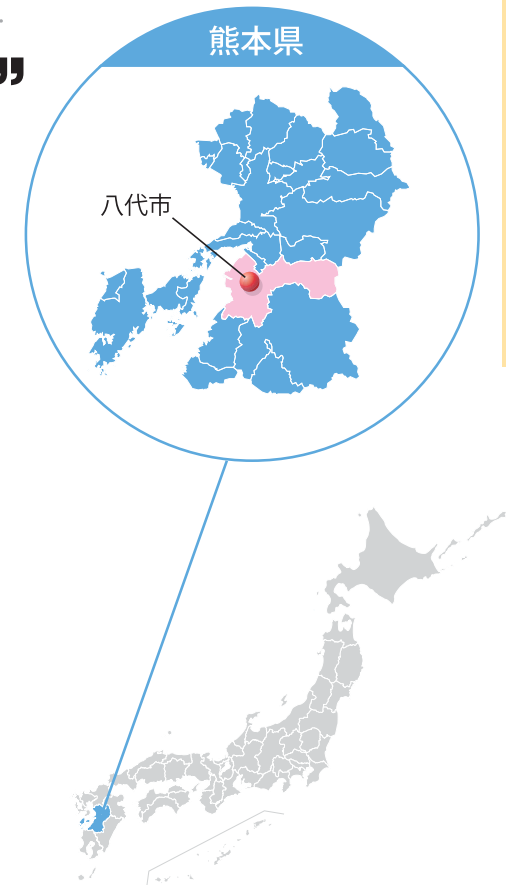


16 “地球上の水を守る人づくり”プロジェクト

団体名 次世代のためにがんばろ会
 主な活動地域 熊本県八代市八代海・不知火海沿岸
 および地域の河川流域
 HPアドレス <http://ganbarokai.com/>
 代表者 松浦 ゆかり E-mail yukarin-m@mx32.tiki.ne.jp

目的

河川・八代海の“水”に対する意識を高めるため、子どもには環境出前授業、一般者には見学会とワークショップを開催し、河川の現状と現状改善を学ぶ。学習会の後、官学民産の共同体制で、河川・浜辺の大掃除を開催し、老若男女の世代間交流の中でゴミ拾いを通じ、地域住民の河川愛護への意識を高める。このように自ら水をきれいにする行動を起こすことで、地域の水環境を大切にする心が育つ人づくりを行う。



ヒアリング風景

冷川の現地視察

カワニナ養成

河川から出たゴミの状況

活動紹介風景

活動現場視察

実施内容

冷川流域の不法投棄のごみや、河岸の雑草・雑木の除去、水源である十文字原の自然環境を野焼きなどにより整備し、徐々に劣化しつつある貴重な生物の生育環境を保全する。取り組みの中でゲンジボタルの幼虫の餌である“カワニナ”を養成し、ゲンジボタルの育成を図る。地域小学校児童への啓発活動“自然観察教室会”を開催し、“カワニナ”を放流させるという体験を通して、自然環境の大切さに気づいてもらう。これらの活動を組織的・継続的に取り組んでいく。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- ホタル観賞と自然観察会 2012年6月
- 河川流域の草刈り 2012年7月
- 冷川流域の環境整備 2012年9月
- 河川敷に広葉樹の植生 2012年11月
- “カワニナ”の放流 2012年8月・12月
- 河川流域の自然環境整備 2013年1月
- 地域住民への活動報告会実施 2013年2月

実施内容

一般の方向けに、雨水による土壌排水を処理するポンプ場見学会を開催する。その際に河川の水質調査や水生物調査を体験し、現状を体感してもらう。また、子ども向けには環境出前講座を開催し、水のサイクルや人間の影響で悪化していく過程を教え、改善方法などの授業を行う。さらに八代海・不知火海、河川地域を対象にごみ拾いを開催する。全ての活動内容を掲載したフリーペーパーを学校で配布するとともに、ポスターは市・県・国の施設に貼り、八代市報・ホームページ等で広報活動も行っている。

ボランティア・イベントに参加しよう!

- 実行委員会 毎月
- 河川・浜辺の大掃除大会 2012年11月下旬
- 広報活動 2013年2月下旬

第6回 助成団体活動報告



プロジェクト名	団体名	主な活動地域	ページ
1 仙台市内の小松島新堤沼水質浄化作業(水辺の再生)	NPO法人 杜の都仙台ナショナルトラスト	宮城県仙台市内	21p
2 山のおいしさ学校・自然学校開校プロジェクト	高根フロンティアクラブ	新潟県村上市高根	21p
3 偕楽園・千波湖周辺環境体験手漕ぎ船運航事業	NPO法人 Water Doors	茨城県水戸市偕楽園・千波湖・桜川流域	22p
4 白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり	白子川源流・水辺の会	東京都練馬区立大泉井頭公園内(白子川源流)	22p
5 親子で楽しめる川遊び・学習の場作り	NPO法人 MY	岐阜県多治見市宝町(大原川)	23p
6 水源の山からびわ湖の保全でビワマスの泳ぐ川をつくる	NPO法人 家棟川流域観光船	滋賀県野洲市の山・森・川・田畑・琵琶湖	23p
7 飛鳥川と周辺の歴史的景観保全活動を通じたまちづくり	景観ボランティア明日香	奈良県明日香村を流れる飛鳥川とその周辺地区	24p
8 松蔭高校 Blue Earth Project(高校部・大学部)	松蔭高等学校 Blue Earth Project(高校部・大学部)	兵庫県神戸市・西宮市・大阪府大阪市・滋賀県琵琶湖・奈良県吉野町・東京都・福岡県 他	24p
9 めざせ!紫川を日本一の清流にするプロジェクト2010～“山”TO“水”TO“私たち中谷”水源再生事業～	中谷地区まちづくり協議会	福岡県北九州市小倉南区中谷地区	25p
10 ネパール農村地域の学校で使用される飲料水の安全確保	NPO法人 ミランクラブジャパン	ネパール カトマンズ ダルマスタリ村ミラन्दルマスタリ学校	25p

1 仙台市内の小松島新堤沼水質浄化作業(水辺の再生)

団体名 NPO法人 杜の都仙台ナショナルトラスト

主な活動地域 宮城県仙台市内

代表者 根本 克彦

E-mail nemoto@yamaichi-j.co.jp

新堤沼に注ぐ水路は、当初は汚れた水にザリガニばかりが生息していたが、年間を通してゴミ拾い、除草活動、ヘドロ処理を実施した他、微生物資材(EM発酵液、EMだんご)の散布により、目に見えて水質の浄化が進み、これまで見られなかったセリなどの植物や小魚、トンボ、かえるなどの生息がみられるまで元の自然の姿に戻りつつある。また、講師を招き過去の事例を紹介して今後の活動を探る勉強会にも取り組んだ。4～5年間にわたって続けてきた新堤沼の水質浄化活動は新堤沼周辺の水路と周辺環境を元の自然に戻す意味で大きな成果が現れた。しかし、東日本大震災の影響で新堤沼の水は干上がった状態が続いてる。今後の活動としては、沼に水が戻るまで、一時水質浄化活動を休止し、清掃活動のみで状況を見守っていききたい。



沼のヘドロ処理



ビオトープ湖づくり

2 山のおいしさ学校・自然学校開校プロジェクト

団体名 高根フロンティアクラブ

主な活動地域 新潟県村上市高根

代表者 遠山 政好 HPアドレス <http://www.takane-net.jp/>

E-mail akepon@vesta.ocn.ne.jp

高根川ワークショップの開催により官民一体となり計画づくりができたことで、来年度の護岸工事のハード整備につながった。工事終了後は自然観察会など多くの教室を開催し、それを水環境保護の啓発活動につなげていきたい。また、ビオトープの整備については、遊歩道の修繕ができたことにより、利用者の安全面を確保でき、利用しやすい施設となった。四季を通じてイベントを開催できたことで、地域の活性化に繋がったと思われる。来年度もイベントを継続させ、交流人口を増やし地域の活性化を図りたい。廃校舎の整備により利用者も多くなったため、少しでも長く集落のシンボルである学校を残せるよう、これからも少しずつ修繕して長持ちさせていきたい。また、高根川ワークショップ・ビオトープをさらに活用していける体制づくりに取り組み、雪中貯蔵と棚田の利活用により耕作放棄地が少しでも少なくなるような、新しい取り組みをしていきたい。



ビオトープを利用した自然観察会



雪中貯蔵体験

③ 偕楽園・千波湖周辺 環境体験手漕ぎ船運航事業

団体名 NPO法人 Water Doors

主な活動地域 茨城県水戸市偕楽園・千波湖・桜川流域

代表者 和田 幾久郎

HPアドレス <http://waterdoors.com/>

E-mail wada@waterdoors.com

「水の都・水戸」の都市ブランド再構築と環境先進都市を目指して、ゴミ拾いと*1Eボートを運航するNPO法人、Water Doorsの存在とその理念は多くの水戸市民によって知られるところとなった。水環境基金による助成金を用いて、Eボート本体、パドル、ライフジャケット等必要な備品を購入し、運航した。ボートに乗船することができた300名にもものぼる市民や観光客が、船上からの水戸の水質観察や水辺生物の観察、河川目線での地域資源の発見、そして環境体験フィールド保全のためのごみ拾いを体験できた。都市の中の水面を真っ赤なボートが進む姿を見た数え切れない市民が、「水の都」としての水戸の姿を意識することになったこと、そしてそれらの様子が新聞等で大きく報じられ、広く認知されたことなど一定の成果を上げることができた。

※1: 交流することを目的にした誰でも簡単に乗れるボート



Eボート体験ツアー



桜川定例ゴミ拾い

④ 白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり

団体名 白子川源流・水辺の会

主な活動地域 東京都練馬区立大泉井頭公園内(白子川源流)

代表者 菅沢 博

HPアドレス http://www.geocities.jp/sirako_river/

E-mail suga-lohas@jcom.home.ne.jp

地元で白子川があることを住民に知らせ、環境意識向上を図り、毎月実施している川清掃にはTOTO社員にも参加していただき、会員のみではできなかった活動ができた。地元以外の方々と活動によって会員の環境意識が「外へ向けて広がった」ことは目に見えない効果である。川の定例活動も定期的に展開されているが、どうしても事務局の負担が過大になっている。若者の入会が少ないため、若年層への働きかけ、人材確保に努めたい。「公園の自然・散策案内ボード」の製作を区に働きかけるために当会で原案をデザインする予定だったが、マンパワー不足のため残念ながらできなかった。

今後は約10年かけ「アユを白子川源流に呼ぶ」プロジェクトの活動も同時に行っていく。活動内容は、10kmの白子川の中にある大きな段差を取り除き、アユが上れる魚道を作る活動である。そのためにも、行政と市民との『共働』という新たなテーマにも取り組んでいく。



水質・生きもの調査



川の定例清掃活動

⑤ 親子で楽しめる川遊び・学習の場作り

団体名 NPO法人 MY

主な活動地域 岐阜県多治見市宝町(大原川)

代表者 古川 智浩

HPアドレス <http://www.my84.jp>

E-mail info@my84.jp

以前は、それほど人が集まる公園・河川ではなかったが、助成によって、公園の芝張り、河川の流れ(急カーブの流れから緩やかな直線へ)の変更を行ったことで、小さな子ども連れから年配の方々まで、よく集まるようになった。また、近所の子どもたちが川遊びをする光景や、バーベキューをする若者たちの姿を見るようになった。6月の水難事故・救難訓練の実習は、悪天候のため実施できず清掃活動に変更。9月の地域住民・近隣住民との清掃活動・草刈りが、台風の影響により中止になったが、宝親水公園・大原川一斉清掃から始まった約5カ年計画の活動の初年度は、好スタートを切れた。全面芝張りを行い、河川の流れを安定させようとするには、まだまだ資金面で苦しいことが多いが、今後ともできる限り公園と河川をきれいにしていき、子どもたちが安心して遊べる環境作り、地域の活性化に繋がるよう努力していきたい。



河川流れ変更工事



公園に芝張りをしている様子

⑥ 水源の山からびわ湖の保全で ビワマスの泳ぐ川をつくる

団体名 NPO法人 家棟川流域観光船

主な活動地域 滋賀県野洲市の山・森・川・田畑・琵琶湖

代表者 北出 肇

E-mail hajimu-k@paw.hi-ho.ne.jp

琵琶湖岸にヨシ苗や、里山植樹の苗を植樹し、家棟川での植物や魚・水鳥の観察や水質検査、手漕ぎ練習などの体験学習、川から琵琶湖へ流れ出るゴミの回収を行った。魚のゆりかご水田事業では水田米の宣伝をすることができた。それぞれの活動イベントにTOTO社員に参加していただき、ともすれば高齢化している我々の活動を大きく励ましていただいた。県のマザーレイク21計画の見直し活動に参加し、県の事業としても位置づけることができた。そうした行政や大学・企業、自治会など一層広い連携を構築して、水源の山から琵琶湖まで家棟川の自然生態系の回廊が再生し、ビワマスが多く遡上するようになるまで活動を強めていきたい。市民の参加が画期的に増えていることは評価できと思うが、自然の復元作業の難しさや、山から湖までの水環境を守るには全市民の参加・関心が求められる。まだ、琵琶湖に流れ出るゴミや農薬が減少するところまでには至っていない。もっと市民へのアピールが必要である。



里山に植樹



魚のゆりかご水田の田植え体験

7 飛鳥川と周辺の歴史的景観保全活動を通じたまちづくり

団体名 景観ボランティア明日香

主な活動地域 奈良県明日香村を流れる飛鳥川とその周辺地区

代表者 三木 健二

HPアドレス <http://ascva.com>

E-mail asuka@yume9200.jp

飛鳥寺の境内地は歴史文化的に極めて重要な場所にもかかわらず、かつて伐採した竹も、やぶの中に廃棄したため踏み込むのが難しいジャングル状態となっていた。しかも、伐採作業が難しい急傾斜が多く、作業は困難をきわめたが、3日間の作業で境内地周辺の道路から見える景観は快適なものになり、地元で大いに感謝され話題となった。周辺には、水落遺跡、亀形石造物、酒船石、苑池遺跡など水の文化を伝える遺跡が多い。その中心部にある荒廃竹林を、10年間にわたり伐採・整備し、一帯の景観は我々の願いどおり、そのほとんどが修復された。うち4年間はTOTO水環境基金の支援による。古代の歴史文化を伝える飛鳥川は1970年、一度国の特別遺跡に内定した。しかしその後正式決定に至らず、整備が不十分であったが、この活動で景観を取り戻すことができた。今後は、飛鳥川に関するボランティア団体をネットワーク化し、分担区間を決め、景観保全をさらに前進させていく。



添木を立て植樹する様子



飛鳥川での草刈り清掃作業

8 松蔭高校 Blue Earth Project (高校部・大学部)

団体名 松蔭高等学校 Blue Earth Project (高校部・大学部)

主な活動地域 兵庫県神戸市・西宮市・大阪府大阪市・滋賀県琵琶湖・奈良県吉野町・東京都・福岡県 他

代表者 谷口 理

HPアドレス <http://www.shoin-jhs.ac.jp/nextstage/social/tap/index.html>

E-mail yb23@livedoor.com

Blue Earth Projectは、過去11年間の実績がある。若者が机上の知識だけではなく、それを実際のアクションプランに変えていくという点が特に評価を得ている。2011年7月10日に「キャンドルナイト」(温暖化STOPと被災地への支援を兼ねて、神戸港で大がかりなキャンドルナイト)を行い、2011年8月25日より3日間「Blue Earth 塾 in 熊本」(熊本県人吉市で、Blue Earth Projectの大学生が、球磨工業高校の生徒たちにTOTOの取り組みも紹介しつつ、環境問題に対する身近なアクションプランを考えるファシリテーション)を行った。最近では鹿児島・熊本・島根・大阪・仙台と、多くの高校から、Blue Earth塾へのオファーが来ている。今後の課題は、この活動で生まれた大学生の組織活動が、NPO法人格を取得し、高校生との活動と並行して安定した活動を行い、持続可能な社会づくりに貢献することである。



無農薬の水田を観察



Blue Earth 塾 in 島根の様子

9 めざせ!紫川を日本一の清流にするプロジェクト2010 ~“山”TO“水”TO“私たち中谷”水源再生事業~

団体名 中谷地区まちづくり協議会

主な活動地域 福岡県北九州市小倉南区中谷地区

代表者 三井 勇策

E-mail rt-cc@ktqc02.net

環境保全サイクル活動(紫川流域の清掃、竹炭釜の火入れ、クヌギ苗400本の植樹など)を通じ、「美しい水や自然を次世代に引き継ぐこと」と、「地域の活性化」を目標としてきた。荒廃竹林を伐採し植林していく一方、伐採した竹で炭を作り、それを使って水質浄化、さらにその後の竹炭を活用しての竹炭米・竹炭野菜づくりが注目されている。今後は竹炭を利用したブランド野菜(環境に優しい野菜)をこの地区の特産品として広くPRしていきたい。また、教育の一環として地元の小学校と一緒に活動を行う一方、市内の小学生の親子を対象に中谷の自然を教材にした「なかにたに環境学校」を開催した。高齢化・過疎化の進む中谷地区において、今後も継続開催して、地域・企業・行政との連携を深め、地域全体が環境保全のモデル地域となり、活動・教育の場となる環境保全サイクル活動を行っていく。



竹炭窯火入れの様子



中谷地区植樹会

10 ネパール農村地域の学校で使用される飲料水の安全確保

団体名 NPO法人 ミランクラブジャパン

主な活動地域 ネパール カトマンズ ダルマスタリ村 ミランドルマスタリ学校

代表者 マナンドール マダーブ ナラエン HPアドレス <http://www.milanclub.org>

E-mail milan@jcome.home.ne.jp

2011年3月、ダルマスタリ学校で飲料水の供給を開始した。近郊の山麓からの飲料水の供給整備事業は以前から計画はあったが、資金面で困難であった。助成金により安全な飲料水の確保と水不足は解消され、当初の目的を達成し、学校の衛生環境整備の一層の充実を図ることができた。水道を学校のみならず、村人にも開放することにより、きれいな水の確保を認識してもらい、地域住民の衛生環境への関心を高めることができた。今後、飲料水の安定供給のモデルケースとなることを期待している。但し、工事の際当初計画にない屋根の設置等、ネパール側の自己負担で追加工事を行った。この件を責任者は承知していたが、日本側の状況把握が曖昧であったことを反省している。日本国内では、ネパールの水環境問題の啓発活動として、「TOTO水環境基金」により、ネパールの子どもの衛生環境の現状と改善について、小学校・中学校で出前授業を実施した。



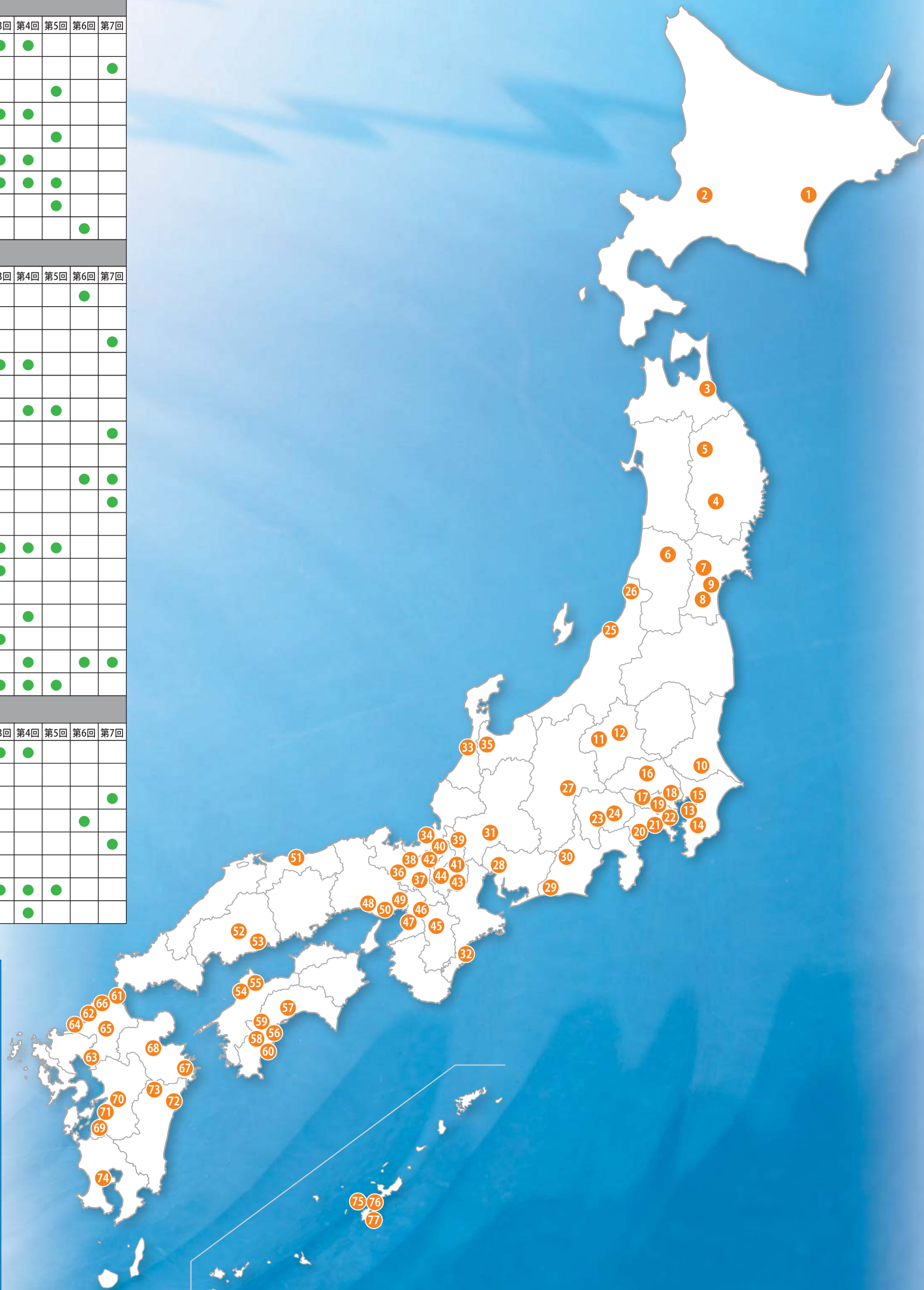
校舎裏に設置された水道



完成した洗面所で水を飲む生徒

「TOTO水環境基金」助成団体一覧

北海道・東北								
NO	都道府県	団体名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回 第7回
1	北海道	ばんばんばんぶきん	●	●	●	●		
2	北海道	NPO法人 山のない北村の輝き						●
3	青森	小川原湖自然楽校					●	
4	岩手	NPO法人 わが流域環境ネット			●	●		
5	岩手	NPO法人 紫波みらい研究所(代表団体)					●	
6	山形	鮭川村自然保護委員会			●	●		
7	宮城	梅田川せせらぎ緑道を考える会			●	●	●	
8	宮城	NPO法人 川崎町の資源をいかす会					●	
9	宮城	NPO法人 杜の都仙台ナショナルトラスト						●
関東・甲信越								
NO	都道府県	団体名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回 第7回
10	茨城	NPO法人 Water Doors						●
11	群馬	NPO法人 緑の家学校	●					
12	群馬	さなざわ里山だんだんの会						●
13	千葉	NPO法人 ふるさと生きがいづくり		●	●	●		
14	千葉	NPO法人 印旛沼広域環境研究会	●					
15	千葉	NPO法人 印旛野菜いかだの会				●	●	
16	埼玉	NPO法人 比企自然学校						●
17	東京	ぜんかんれん		●				
18	東京	白子川源流・水辺の会					●	●
19	神奈川	NPO法人 おさかなポストの会						●
20	神奈川	浜っ子トラストチーム	●					
21	神奈川	ほのぼのビーチ茅ヶ崎			●	●	●	
22	神奈川	NPO法人 ヨコハマ倉造空間	●	●	●			
23	山梨	NPO法人 えがおつなげて		●				
24	山梨	NPO法人 ゼロファクトリー				●		
25	新潟	NPO法人 ねっとわーく福島潟			●			
26	新潟	高根フロンティアクラブ				●		●
27	長野	ステップアップゼミ			●	●	●	
東海・北陸								
NO	都道府県	団体名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回 第7回
28	愛知	ネイチャークラブ東海			●	●		
29	静岡	NPO法人 浜松NPOネットワークセンター	●					
30	静岡	NPO法人 はるの山の楽校						●
31	岐阜	NPO法人 MY					●	
32	三重	一般社団法人 海っ子の森						●
33	石川	金沢エコライフ事業実行委員会	●					
34	福井	アマモサポーターズ			●	●	●	
35	富山	福光ふるさとの森を再生する会				●		



近 畿								
NO	都道府県	団体名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回 第7回
36	京都	水源の里連絡協議会			●	●	●	
37	京都	NPO法人 プロジェクト保津川				●		●
38	京都	ほたる祭改善プロジェクト委員会					●	
39	滋賀	NPO法人 旅するおさかなサポーター			●			
40	滋賀	NPO法人 夢工房		●				
41	滋賀	清水川湧遊会				●	●	
42	滋賀	たかしま有機農法研究会				●		
43	滋賀	神山区いい顔づくり委員会					●	
44	滋賀	NPO法人 家棟川流域観光船						●
45	奈良	景観ボランティア明日香			●	●	●	●
46	大阪	NPO法人 花だんごネットワーク			●	●	●	
47	大阪	NPO法人 ふくてつく		●				
48	兵庫	「峠池」を考える会	●					
49	兵庫	武庫川の治水を考える連絡協議会	●					
50	兵庫	松蔭高等学校 Blue Earth Project					●	●
中国・四国								
NO	都道府県	団体名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回 第7回
51	鳥取	山王さん周辺活性化協議会				●		
52	広島	酒屋地区自治会連合会			●	●	●	
53	広島	大羽谷川流域の環境を考える会				●		
54	愛媛	宮前川クリーンネット		●			●	
55	愛媛	エコ・ライフ夢幻村			●	●		
56	高知	(社)西土佐環境・文化センター 四万十楽舎		●				
57	高知	こうち森林救援隊			●	●	●	
58	高知	しまんと黒尊むら			●	●	●	
59	高知	大正中津川「やまびこ会」					●	
60	高知	橘若者会					●	
九 州								
NO	都道府県	団体名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回 第7回
61	福岡	中谷地区まちづくり協議会	●		●	●	●	●
62	福岡	NPO法人 つやざき千軒いきいき夢の会	●					
63	福岡	アクアリング委員会		●	●	●	●	●
64	福岡	火山里山保全交流会					●	
65	福岡	NPO法人 遠賀川流域住民の会					●	
66	福岡	香月・黒川 ほたるを守る会						●
67	大分	佐伯広域森林組合				●		
68	大分	冷川のホタルと親しむ会						●
69	熊本	やまंतर♡かわんたるの会	●	●				
70	熊本	どんぐりプラットホーム			●	●	●	
71	熊本	次世代のためにがんばる会						●
72	宮崎	M F V 会			●			
73	宮崎	高千穂森の会					●	
74	鹿児島	郡山マグニチュード21				●		
75	沖縄	宜野湾の美ら海を考える会			●			
76	沖縄	おきなわ環境塾				●		
77	沖縄	NPO法人 珊瑚舎スコーレ		●			●	
海 外								
NO	国	団体名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回 第7回
78	中国	NPO法人 環境資源保全研究会			●	●		
79	中国	ひふみや(自然農法)					●	
80	インドネシア	日本インドネシアNGOネットワーク			●			
81	バングラディッシュ	NPO法人 日本下水文化研究会			●	●	●	
82	ベトナム	社団法人 国際海洋科学技術協会			●	●	●	
83	ミャンマー	認定NPO法人 ブリッジ エーシア ジャパン			●	●	●	
84	ネパール	NPO法人 ミランクラブジャパン						●

第7回 TOTO水環境基金募集概要

第7回 TOTO水環境基金は下記のとおり募集・選考を行いました。

1. 助成内容について

- 助成期間** 2012年4月1日～2013年3月31日までの1年間
- 助成費目** 活動や事業に必要な経費(助成金額の20%までスタッフの人件費を含むことができます)
- 第7回助成** 総額：980万円(16団体)

- 過去の助成結果**
- 第1回：総額1,090万円(12団体)
 - 第2回：総額1,560万円(12団体)
 - 第3回：総額8,051万円(29団体)
 - 第4回：総額1,200万円(16団体)
 - 第5回：総額1,102万円(18団体)
 - 第6回：総額 751万円(10団体)

※第3回はTOTO90周年記念事業として助成額を増額、複数年(3年以内)を助成

2. 選考について

- 選考方法** 下記の基準にもとづいて社内選考委員会にて決定しました。
- (1) プロジェクトが契機となり、地域で水と暮らしの文化に関わる新しい仕組みや事業を創り出す可能性があるか。
 - (2) 地域の暮らしに根ざした活動で、継続性が期待されるか。
 - (3) 生物多様性の保全、CO₂削減等地球環境保全に寄与されるか。
 - (4) 目的や内容が明確で、プロジェクトの必要性や重要性が高いか。
 - (5) 実施手法や実施体制あるいは予算の面から、プロジェクトの実現性が高いか。
 - (6) 地域に住む人びとが活動の中心となり、専門家の参加や協力を得ることで、より高い効果が得られるか。
 - (7) 団体の活動にTOTOグループ社員や家族なども参加し、協働で活動を進めることができるか。
- (ただし、海外等一部の地域については除きます。)

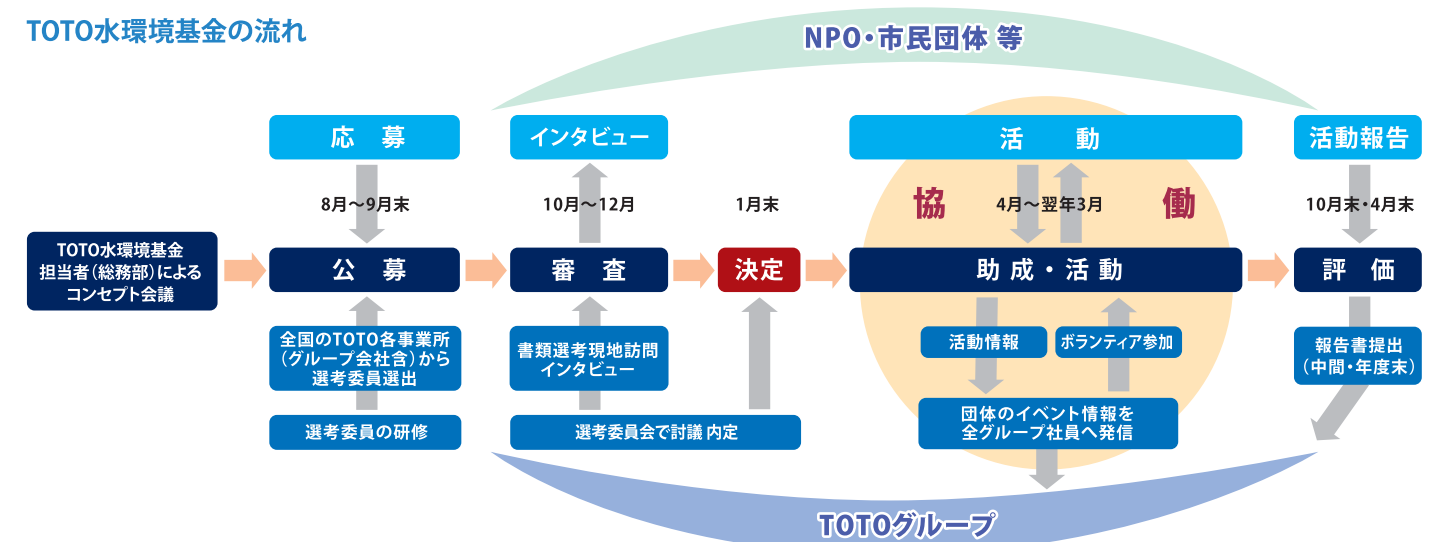
3. 応募について

- 応募資格**
- (1) 営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない)
 - (2) 地域(日本国内)に根ざした活動をしている団体、または日本国内に本部を有する団体で、海外に支部(現地拠点)あるいは現地カウンターパート(現地NGOなど)を有し、現地スタッフが活動している団体
 - (3) 目的や内容が、特定の宗教や政治などに偏っていない団体
 - (4) 直接的又は間接的を問わず、暴力団、暴力団員、暴力団関係者、総会屋その他の反社会的勢力と交際、関係等がない団体
- ※過去に本助成金を受けた団体も申請可能。

4. TOTO水環境基金活動について

活動状況は右記ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.toto.co.jp/company/environment/social/mizukikin/index.htm>

TOTO水環境基金の流れ



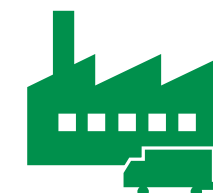
TOTO GREEN CHALLENGE

従来からの環境活動をさらに劇的に加速する「TOTO GREEN CHALLENGE」を掲げ、地球規模の活動へ広げています。「商品・サービス」「ものづくり」「社会貢献」の3つの軸と、そのベースとなる「ひとづくり」において、2017年度に向けた新たな目標にチャレンジしていきます。



商品・サービス

CO₂を削減できる商品の開発や提案、空気浄化機能を持つハイドロボットの普及をすすめています。



ものづくり

生産・物流・販売すべての事業活動で環境負荷を減らすとくみをしています。



社会貢献

生物多様性の視点から、社会と関わり合った環境貢献活動を推進しています。



ひとづくり

「商品・サービス」「ものづくり」「社会貢献」の3つの貢献軸で活動を推進し、TOTO GREEN CHALLENGEの実現に向けた活動を通して環境意識の高いひとを育成しています。

環境に関する社会貢献活動のご紹介



茅ヶ崎ビーチクリーンアップ活動



高知土佐山どんぐり植樹



中国水環境基金の孤児院への節水商品寄贈



鞍月クリーンアップ作戦



津波被害林の植樹活動



南京での植樹